

- 進行・再発癌                       術後補助化学療法                       術前補助化学療法  
 大量化学療法                       局所療法                       その他(                      )

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	ビノレルビン(ナベルビン・VNB)	25mg/m <sup>2</sup>	div	5分以内	d1、d8
2	トラスツズマブ(ハーセプチン・HER)	2mg/kg	div	90分	d1、d8、d15
3	トラスツズマブ(ハーセプチン・HER)	4mg/kg (初回のみ)	div	90分	(d1)
4					

1コース期間(次コースまでの標準期間)	3週間(VNBは2投1休、HERは3投)
総コース数	出来る限り
コース間での休薬の規定	トラスツズマブの心毒性のために心機能が低下した場合、トラスツズマブを休薬する 白血球数2,000/mm <sup>3</sup> 未満の場合は、回復するまで延期

減量規定・中止基準	(2コース目以降) 好中球の減少を疑う所見のある場合20mg/m <sup>2</sup> に減量する
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	HER初回投与時は4mg/kg、2回目以降は2mg/kg
1日の中での抗癌剤投与順	VNB → HER
プレメディケーション・ポストメディケーション	

患者条件

- ・PS 0~2
- ・再発転移HER2陽性(Herceptest3+, FISH陽性)
- ・アントラサイクリン系及びタキサン系抗悪性腫瘍剤の投与歴がある場合にはファーストライン
- ・主要臓器が保たれている症例
- ・心エコーで心駆出力50%以上

除外規定

- ・PS 3以上
- ・骨髄機能低下の著しい患者
- ・重篤な感染症を合併している患者
- ・本剤及び他のビンカルカロイド系抗悪性腫瘍剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者
- ・重篤な心障害のある患者(左室駆出率50%未満)

実施上の注意点

ナベルビン

- ・薬液が血管外に漏れた場合に硬結・壊死を起こすことがあるので、注意し投与する。
- ・ナベルビンは血管痛、静脈炎を起こすことがあるので、投与後は補液等により薬液を十分洗い流すこと。